

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】平成 21 年 5 月 21 日 (2009.5.21)

【公開番号】特開 2008-246237 (P2008-246237A)
 【公開日】平成 20 年 10 月 16 日 (2008.10.16)
 【年通号数】公開・登録公報 2008-041
 【出願番号】特願 2008-178899 (P2008-178899)
 【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 4 Z

A 6 3 F 7/02 3 2 4 B

【手続補正書】
 【提出日】平成 21 年 4 月 7 日 (2009.4.7)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

遊技球を貯留する遊技球タンクと同遊技球タンクの下部流出口から遊技球払い出し機構へ遊技球を流下させるタンクレールとを有する遊技球流路部を備える遊技機であって、
前記遊技球流路部に備えられる遊技球タンクまたはタンクレールの前側または後側に設けられ、前記遊技球タンクまたはタンクレールの前後両側面が共振する周波数の音出力されることで振動を与える音声出力手段を具備することを特徴とする遊技機。

【請求項 2】

遊技球を貯留する遊技球タンクと同遊技球タンクの下部流出口から遊技球払い出し機構へ遊技球を流下させるタンクレールとを有する遊技球流路部を備える遊技機であって、前記遊技球流路部に備えられる遊技球タンクまたはタンクレールの前側または後側に設けられ、前記遊技球タンクの前後両側面の内幅を音速の 2 倍で除した周波数の整数倍の周波数の音を出力する音声出力手段を具備することを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0 0 0 3
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【0 0 0 3】

上述した従来の遊技機においては、遊技球タンクの下部流出口に対面する遊技球導入部位 2 a において、鉛直方向から若干斜めの向き（図の L 1 の向き）に複数の遊技球が直線状に並んだまま動かなくなるという、玉詰まり現象が生じることがあった。なお、図では、玉詰まり現象が生じたときの遊技球の一部を点線により示している。

本発明は、上記課題にかんがみてなされたもので、遊技球タンク内やタンクレール内に玉詰まり現象を生じ難くすることが可能な遊技機の提供を目的とする。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0 0 0 4
 【補正方法】変更

【補正の内容】

【0004】

この目的を達成するために請求項1記載の遊技機は、遊技球を貯留する遊技球タンクと同遊技球タンクの下部流出口から遊技球払い出し機構へ遊技球を流下させるタンクレールとを有する遊技球流路部を備えており、前記遊技球流路部に備えられる遊技球タンクまたはタンクレールの前側または後側に設けられ、前記遊技球タンクまたはタンクレールの前後両側面が共振する周波数の音出力されることで振動を与える音声出力手段を具備するものである。

請求項2記載の遊技機は、遊技球を貯留する遊技球タンクと同遊技球タンクの下部流出口から遊技球払い出し機構へ遊技球を流下させるタンクレールとを有する遊技球流路部を備えており、前記遊技球流路部に備えられる遊技球タンクまたはタンクレールの前側または後側に設けられ、前記遊技球タンクの前後両側面の内幅を音速の2倍で除した周波数の整数倍の周波数の音を出力する音声出力手段を具備するものである。

請求項1又は2に記載の遊技機によれば、遊技球流路部は、遊技球を貯留する遊技球タンクと、同遊技球タンクの下部流出口から遊技球払い出し機構へ遊技球を流下させるタンクレールとを有している。そして、音声出力手段は、遊技球タンクまたはタンクレールの前側または後側に設けられ、遊技球タンクまたはタンクレールの前後両側面が共振する周波数の音を出力して、又は、遊技球タンクの前後両側面の内幅を音速の2倍で除した周波数の整数倍の周波数の音を出力して、遊技タンクやタンクレールに振動を与える。すると、この振動が遊技球タンク内の遊技球やタンクレール内の遊技球に伝えられるので、遊技球タンク内やタンクレール内の遊技球の流下が促進される。また、遊技球タンクやタンクレールに与えられた振動は、共振することにより大きくなるので、遊技球タンク内やタンクレール内の遊技球の流下を促進させることができる。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

本発明は、遊技球タンク内やタンクレール内にて玉詰まり現象を生じ難くすることが可能な遊技機を提供することができる。